

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年3月9日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970700146
法人名	医療法人 元湧会
事業所名	グループホーム わいず
所在地	〒787-0033 高知県四万十市中村大橋通6丁目7番5号
自己評価作成日	平成21年10月28日
評価結果市町村受理日	平成22年3月18日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年11月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3970700146&SCD=32
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームでは、利用者一人ひとりの人権を尊重し、自立を大切に健康で明るく、地域の一員として、それぞれの生活リズムに応じた共同生活を送っていただくよう支援しており、職員全員が入居者第一に暖かな家庭的な雰囲気を大事にしながら、何事も前向きに取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所内は、居室、共用スペースが暮らしやすく清潔に整理整頓され、自宅で過ごすと同じような暖かい雰囲気の中、利用者の残存能力を活かして一人ひとりの生活リズムを大切に、管理者、職員は利用者を家族と思い、何事も利用者第一に日々の支援に取り組んでいる。母体法人の医療機関と隣接しており、医師、専門スタッフの指導、助言がいつでも得られ、機能訓練や口腔体操、レクレーションを積極的に取り入れ、利用者の能力の維持回復に取り組んでいる。また、状態変化時等も迅速な対応が可能であり、利用者、家族とも信頼関係が築かれている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「1人1人の人権を尊重し、自立心を大切に健康で明るく、地域の一員としてその人らしい生活を支援する」の基本理念を元に職員が話し合い、実行しやすいような独自の理念を作っている。	独自の理念を作成し、職員会で話し合い、目に付く場所に掲示する等意識づけを図っている。人生の先輩として人格を尊重し、その人に合った言葉かけを心掛け、職員同士気をつけ合いながら実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩などに出かけた時は、地域住民と日常的に挨拶している。	自治会に加入し、回覧版で地域の情報を得て、防災訓練と花見を兼ねた地域行事に利用者と一緒に参加している。散歩や畑作業時には地域住民への声かけに心掛け、野菜の苗をもらうなど交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実施できていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回、出た意見はサービス向上に活かせるよう職員間で話し合い検討している。	参加委員から積極的な意見が出され、双方向的な会議になっている。評価結果についても報告し、改善に向け取組みサービス向上につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	何かあれば問い合わせし指導や助言を頂くようにしている。	日々の業務で困った時に相談、助言や指導を得たり、運営推進会議等を通じて連携を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組み、日中は玄関に施錠せず、本人らしく生活できるようにしている。	利用者の外出傾向を把握し、チャイムや職員同士の連携により見守り、居室や玄関に鍵をかけないようにしており、リスクに関して家族と話し合っている。	身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、なお、職員に周知、徹底するため、研修など学習機会の確保や禁止項目の明文文化などに取り組まれることを期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないよう注意を払い、防止に努めている	参加できる研修等には出来る限り参加していきたいが、勤務の都合上なかなか難しい。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要な方への支援としては、管理者と担当関係者での話し合いを持っている。他の職員については学ぶ機会は持っていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約の際は利用者や家庭の不安、疑問点などを尋ね、理解と納得をいただくよう説明をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の言葉や態度からその思いを察する努力をし、また、家庭からの意見等があればその都度職員間で話し合い対応している。	利用者の意見は日々の関わりの中で把握し、家族とは、花見、敬老会などの行事の後の懇談や面会時に、意見、要望を聞くようにしている。家族のリーダーから意見等の報告を受け、職員で話し合い運営に反映させるよう取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	2～3カ月に1回の職員間でのミーティングを開き意見を聞いている。	職員会で職員の日頃の思いや意見が出せるようにしており、排泄ケアで経済的負担の大きいリハビリパンツから布パンツへ移行する提案を受け、職員全員で取り組むなど、運営に取り入れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員間のミーティングなどで出た意見を代表者に伝えるなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、内部研修に参加できる機会やその他の研修の紹介を掲示したり、学ぶ機会を設け、職員の質の向上を目指している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他のグループホームの管理者や職員との横のつながりを大事にし、訪問したり、意見交換したり、各事業所の良い所を参考に取組み活かしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人と直接話をし、不安なことや訴えを聞き、少しでも困っていることを軽減し、安心していただけるよう努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望等を傾聴し、出来る限り受け止められるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	以前、利用していたサービス機関から、入居者についての情報を得ながら、必要なサービスを検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る限り時間を共有し、人生の先輩として教わる姿勢を忘れず、日々の関わりを大切にしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その都度、入居者の状態を報告し、家族への意見や必要に応じ協力を求めるようにしている。また、行事（外出）に参加していただいた際には共に時間を過ごしてもらえるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	入居前の生活が入居後も継続出来るように出来る限り協力していくようにしている。自宅で使っていたものを部屋に置いたり、大切にしてきた友人を大切にし、面会時には居室にてゆっくりと同じ時間を過ごしてもらえるようにしている。	祭りの見学などを通じて出身地域を訪問したり、かかりつけの美容院を利用している。また、併設のデイケア参加者との交流や母体法人の病院受診者の訪問があるなど、関係を継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士のコミュニケーションが図れるきっかけ作りやトラブルを招かないよう、出来る限り職員が時間を共有するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	外出先で家族等に会ったときの挨拶や会話を大事にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段からの会話を大切にし、一人ひとりの主張を聞き、その都度対応している。	家族や担当ケアマネージャーから情報を得て、また、利用者との日頃の関わりの中で希望や意向をくみ取っている。情報は業務日誌やケース記録で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人、家族、以前利用していたサービス担当者から情報収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	業務日誌、介護記録、連絡帳を活用し把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の希望や職員の意見を元に作成している。	利用者、家族の希望を反映した介護計画を作成し同意を得ている。3カ月毎に担当職員の気づきや介護記録をもとに、カンファレンスを行い、計画を見直している。利用者の状況に変化があれば、その都度も見直している。必要に応じて医師やリハビリ担当職員が加わり、チームで対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	支援経過に結果や気づきの記入をしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	病院併設の為、要望に応じた支援が行えている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	運営推進会議を通じて区長さんとは情報交換している		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	病院が併設されていることで入居者、家族は安心され、当病院の受診を希望されている。また、他科への受診を希望されるときは希望に応じた病院への受診ができるよう手配している。	利用者、家族の希望するかかりつけ医に受診できるよう支援している。急変時や専門医の受診は家族対応を基本としているが、家族の都合がつかない時や独居の利用者には、管理者が対応している。受診結果は業務日誌等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設病院と医療連携体制をとっているため、毎日看護師への入居者の体調報告、相談ができ、受診等が必要になった場合は適切な対応がとれる体制が整っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	併設病院に入院の場合は、情報交換や相談はすぐに対応できている。他の医療機関に入院した際は定期的に連絡を入れるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態に応じて主治医、家族と話し合うようにしている。	入居時に重度化や終末期の対応について意向を確認している。母体法人の医療機関との連携体制が確立されており、利用者、家族との信頼関係も築かれている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、事故発生時には、母体法人の病院に協力してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域との協力体制を築いているとは言えないが、地域の防災訓練には入居者と共に参加するようにしている。	隣接する母体法人の医療機関と合同の防災訓練を実施し、避難路の確保や消火器等の設備点検も実施しているが、地域住民の参加は得られていない。非常用の飲料水は準備できているが、食料は準備できていない。	災害時には地域住民の協力が欠かせないため、運営推進会議等を通じて地域住民に協力を呼びかけるとともに、非常用の食料の備蓄については、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルを参考に検討されることを期待したい。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人内の勉強会に参加したり、職員間でのミーティングで議題に取り上げ、意識を高めている。また、職員同士がお互い注意しあ合っている。	排泄誘導時など、利用者を傷つけないさりげない言葉かけや対応に注意している。職員採用時の誓約や、法人主催の研修に参加し、取り組みを徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の関わりを大切にし、本人自身で決定できるよう支援したり、何気ない会話や表情などから希望を汲み取るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の体調や気分に応じて環境をつくり、その人らしく生活できている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望される方には馴染みの美容室を利用してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>野菜の皮むき等の下ごしらえ、コーヒー作り、テーブル拭き、ランチョンマット・ティッシュ・ゴミ入れの用意、配膳、下膳、食器洗いなどその方に応じた力が発揮できるように利用者のその日の状態を見て職員がきっかけ作りをしている。</p>	<p>利用者の希望を取り入れた献立を作り、買物、下ごしらえ、配膳などで利用者の力を発揮してもらう場面づくりをしている。職員はさりげなく介助をしながら、利用者と一緒に食事をしている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の状態を把握し、声かけ等行っている。しっかりと水分量を確保できるように食事時、おやつ、入浴後などにならざる摂取していただいている。栄養摂取が不足する方には主治医や病院の栄養士に相談し状態に応じた栄養補助食品を併用するようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、個別のケアが出来る。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>リハビリパンツ使用者も全員トイレにて排泄できており、また、排泄パターンを調べ、日中の失禁がない方には布パンツに変更している。</p>	<p>排泄チェック表で排泄パターンを把握するとともに、利用者の様子でサインを察知し、トイレで排泄できるように支援している。リハビリパンツから布パンツに改善できた事例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘については職員も理解できている。適度な運動、水分摂取など働きかけたり、また、食材の工夫をしたりしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調や希望に応じた対応としている。	利用者の希望に沿って、毎日入浴できるよう支援している。拒否のある利用者には、言葉かけ等の工夫により、最低週3回以上の入浴支援ができています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や希望に応じて支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方内容については「くすり内容帳」で職員全員が確認出来るようにしており、変更があれば申し送りをしている。分からないことがあれば薬剤師に確認するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好きな家事や得意なこと、興味のあることなど、負担のない程度に役割を持っていただいたり、余暇活動の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>散歩や買い物については出来る限り希望を聞き入れ出かけるようにしている。最低年1回は家族と一緒に外出するようにしている。</p>	<p>天気の良い日は近くの公園におやつを持って散歩する等、外出する機会を多くもつよう支援している。買い物も利用者の希望に沿って毎日出かけている。車椅子の利用者も同じようにドライブ等希望に応じて支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的には管理者が管理しているが、小額のお小遣いについては家族の了承のもと所持している方もいる。また、買い物に行った際は自分で支払をしてもらうようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話の希望があればその都度つないだり、手紙が来た際は本人の希望に応じて読み伝えている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日の掃除をかかさず清潔を保ち、職員が気かけ工夫している。季節に応じた飾りつけなどしている。</p>	<p>共用空間は、明るく、利用者が動きやすいよう整理されている。また、季節の植物を折り紙や切り絵で飾り付けるなど、季節感にも配慮し、居心地良く過ごせるように工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>設備的に狭く余裕がないなかで居室や居間、食堂とそれぞれ好きな場所で過ごしている。時にはバルコニーや1Fスペースに移動し1人や少人数になれる居場所作りをしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使っていた家具や日用品を持ってきてもらい、家族の写真なども飾るようにしている。</p>	<p>居室には、使い慣れた家具や家族写真、利用者が作った置物等が飾られ、利用者一人ひとりが馴染みの物を活かして居心地良く過ごせるように配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者の立場に立った環境作りを心がけその人に合ったケアをしている。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名：	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない